

令和元年度愛媛県教育文化賞受賞者について

[愛媛県教育文化賞とは]

愛媛県教育文化賞は、教育、科学、芸術等について、本県文化の向上発展に、特に功績著しい個人又は団体について顕彰するものです。昭和27年以来、本年度を含めたこれまでの受賞者は、個人189名及び団体2団体となっています。

令和元年度愛媛県教育文化賞の表彰式が、令和元年11月3日文化の日に愛媛県庁正庁で行われ、本県の教育文化の向上発展に、特に功績著しい次の3名が受賞されました。

ふりがな 氏名 (在住市町村) 年齢	功績概要	主要経歴
よしもと あきこ 吉本 昭子 (西条市) 90歳	<p>(体育振興)</p> <p>昭和29年の愛媛県なぎなた連盟発足以来、長きにわたり役員として、なぎなた競技の普及発展と、なぎなたの修練による心身共に調和のとれた人材の育成に尽力されました。</p> <p>特に、平成6年からは、同連盟の副会長、会長を歴任され、組織の中心人物として、競技人口の裾野拡大、競技力の向上に力を注がれるとともに、後進の育成指導に熱心に取り組まれ、有力選手を輩出するなど、今日、本県がなぎなた強豪県として、その地位を確立するにあたっての礎を築かれた功績は高く評価されています。</p> <p>また、愛媛県体育協会評議員として、スポーツの普及奨励や指導者の養成など、本県のスポーツ振興に多大な貢献をされました。</p>	(現)愛媛県なぎなた連盟顧問 (元)愛媛県なぎなた連盟会長 (元)愛媛県なぎなた連盟副会長 (元)愛媛県なぎなた連盟理事 (元)(財)愛媛県体育協会評議員
はまだ たいすけ 浜田 泰介 (滋賀県大津市) 87歳	<p>(芸術文化)</p> <p>昭和32年に京都市立美術大学大学院を修了以来、60年以上の長きにわたり、卓越した独創性と旺盛な探求心を持って芸術活動に専念されました。</p> <p>特に、昭和36年以降は、国内外で数多くの個展を開催され、既存の日本画の枠組みにとらわれない作品世界が高く評価されています。</p> <p>また、世界文化遺産である醍醐寺や東寺といった歴史的建築物の障壁画、襖絵を数多く制作され、「平成の襖絵師」として確固たる地位を築かれました。</p> <p>さらに、県内での展覧会、宇和島市立南予文化会館の緞帳や椿神社神殿の障壁画制作等を通じ、本県芸術文化の普及向上に多大な貢献をされました。</p>	(現)日本画家 椿神社神殿障壁画を制作 伏見稲荷大社襖絵を制作 東寺襖絵を制作 醍醐寺障壁画を制作
ふじわら けい 藤原 恵 (伊予郡松前町) 73歳	<p>(学校教育・体育振興)</p> <p>昭和49年に公立学校教諭として奉職されて以来、たゆまぬ探求心と実践力を持って教育の道に精進され、地理歴史・公民教育の充実等に尽力されました。</p> <p>特に、平成12年以降、愛媛県立三崎高等学校長、愛媛県立新居浜西高等学校長、愛媛県立松山南高等学校長を歴任されるとともに、高等学校長協会会長として県教育界で指導的役割を果たし、高等学校教育の振興・発展に寄与された功績は高く評価されています。</p> <p>また、愛媛県体育協会事務局長、専務理事として、競技力の向上や、スポーツの推進活動に熱心に取り組まれ、平成29年に開催されたえひめ国体の成功に多大な貢献をされました。</p>	(元)(公財)愛媛県スポーツ協会専務理事 (元)(公財)愛媛県体育協会専務理事 (元)(財)愛媛県体育協会事務局長 (元)愛媛県高等学校長協会会長 (元)愛媛県立松山南高等学校長